

カスタム布製ノート： ノート：
調達・仕様テックパック

**調達、エンジニアリング、製造向けRFQのための構造・
装飾プレイブック。**

真の布製ノートカテゴリーを定義する

真のカスタム布製ノート	印刷紙・合成素材	スリップカバー・ポーチ
表面に織物、編物、フェルト、または不織布を使用。 ボードにラミネート、パッド加工、縫製、または取り外し可能なスリーブとして製作可能。 主な目的は本物のテキスタイルの触感。 指定がない限り、ケア性や洗濯可能性は想定しない。 	標準紙にテキスタイル柄または合成皮革を印刷したもの。 真の織り構造と有機素材との相互作用を欠く。	交換可能な中紙を備えた再利用可能なジャーナルカバー、または標準ノートを収めるだけの布製ポーチ。 ブックブロックに恒久的に組み込まれていない。

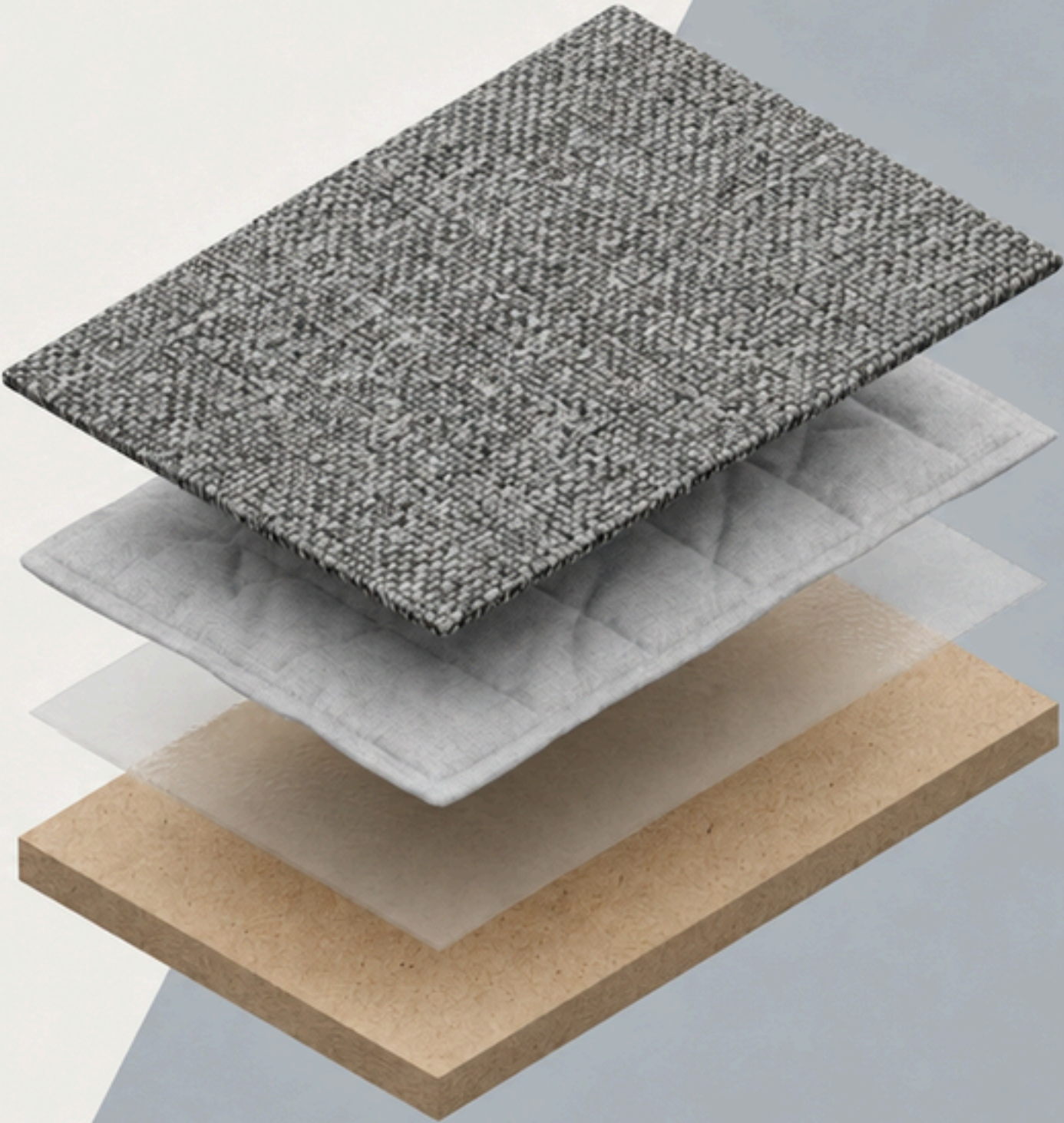
布製ノートのアーキテクチャを分解する

布ラップ（織物／編物／フェルト／不織布表面）

パディング（柔らかさのための任意層）

接着剤（結合剤）

硬質ボード（構造基盤）



布ラップ（織物／編物／フェルト／不織布表面）

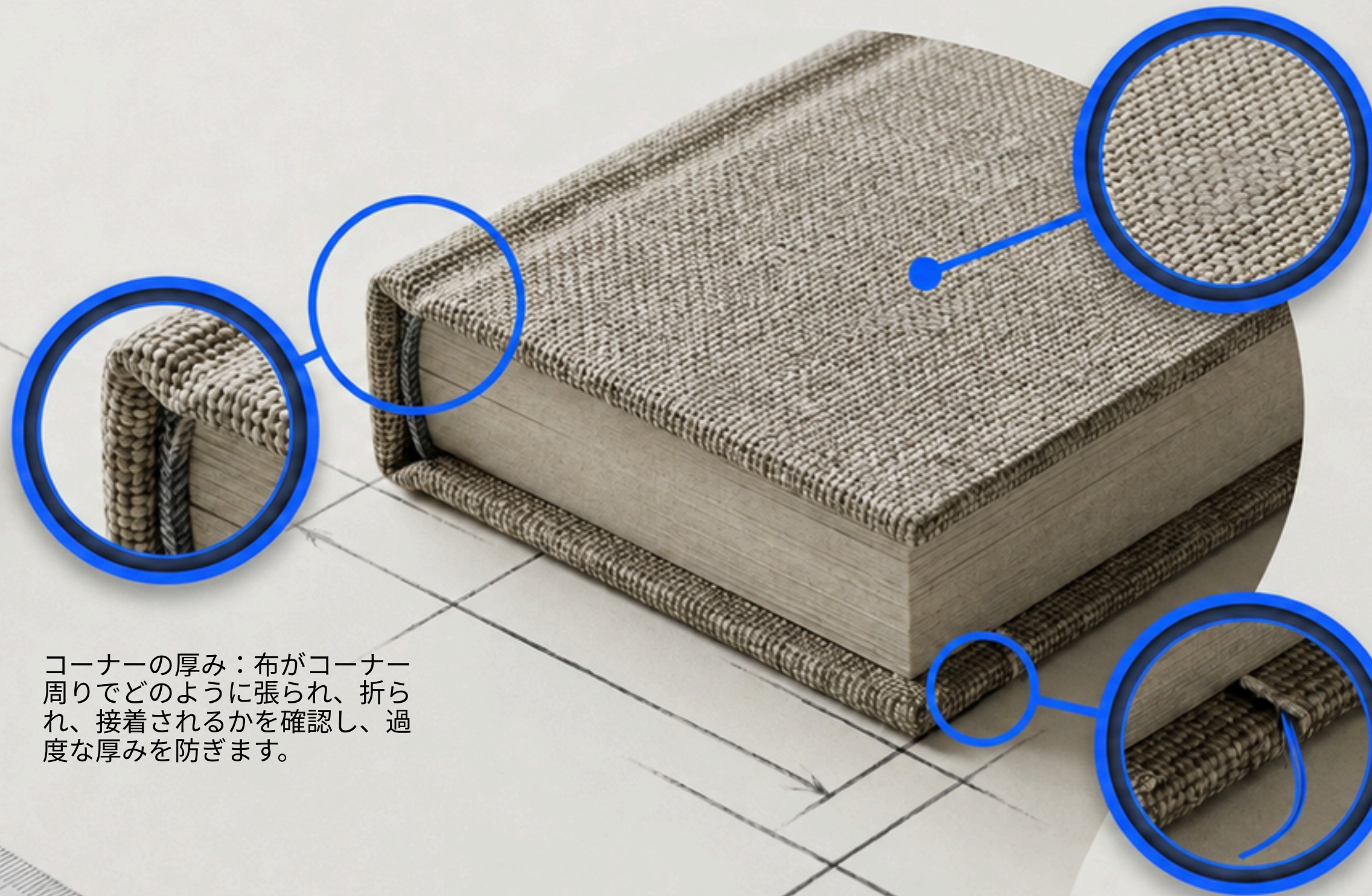
パディング（柔らかさのための任意層）

接着剤（結合剤）

硬質ボード（構造基盤）

「布」だけでは不完全な仕様です。購入者は、繊維、織り、重量、裏打ち、コーティングを含む提案構造を文書化する必要があります。

コーナーとエッジ処理を管理する



コーナーの厚み：布がコーナー
周りでどのように張られ、折ら
れ、接着されるかを確認し、過
度な厚みを防ぎます。

接着剤の透け：薄い、または裏打ちの
ない布では、接着剤が織り目を通って
表面ににじむリスクがあります。

ほつれと縫い目の厚み：生地
端をどのように処理、折り、
縫製して、時間の経過による
ほつれを防ぐかを確認しま
す。

柄合わせと方向性のある織りが背表紙の挙動を決める

方向性のある織り：

矢印は、本を平らに開いたときに布目がどうなるべきかを示し、反りや張力による破れを防ぎます。

等幅フォント：

経糸と緯糸を水平方向に揃える。
360°開きに対応。

柄合わせ：

パネル間または背表紙周辺で視覚パターンをシームレスに揃える必要があるかを示します。

等幅フォント：

シームレスな視覚フローが必須。リピート柄を一致させる。

開き方：

指定されたカバー構造がテキスタイルを損傷せず機能するように、綴じ部を実物で確認する必要があります。

等幅フォント：

ヒンジの折れをテストし、布が伸びたり裂けたりしないことを確認。

ヒンジと布目のダイナミクス

テキスタイル基材と適合規格を指定する

材料仕様カード

✓

識別：繊維組成、裏打ち、仕上げを特定。

繊維組成：

[100%リネン、オーガニック]

裏打ちタイプ：

[なし]

仕上げ：

[未加工、無染色]

✓

性能：色堅牢度、耐摩耗性、難燃性限界。

洗濯堅牢度：

[グレード4-5]

耐摩耗性：

[20Kサイクル]

難燃性：

[クラス1、CAL 117]

✓

適合：規制物質、再生材含有率、調達規制。

規制物質：

[REACH適合]

再生材含有率：

調達規制：

[GOTS認証]

堅牢度、持続可能性、性能を、確認済みの証拠と試験なしに決して想定しない。
重要な適合項目ではサンプル試験のレビューが必須です。

テキスタイル特性に対する装飾技法を評価する

装飾互換性マトリクス

	触感への影響（手触り）	追加の厚み／かさ	細部／文字の解像度	布のテクスチャ／吸収性との相互作用
スクリーン／転写印刷				
刺繍				
織りラベル／ワッペン				
箔／デボス（適切なラミネート上）				ラミネート裏打ちが必要
メタルバッジ				

主な洞察：刺繍とワッペンは厚みを増す。印刷はテクスチャと吸収性に直接作用する。デボスには特定のラミネート裏打ちが必要。細部は工程別レベルで必要です。

アートワークには工程別フォーマットが必要

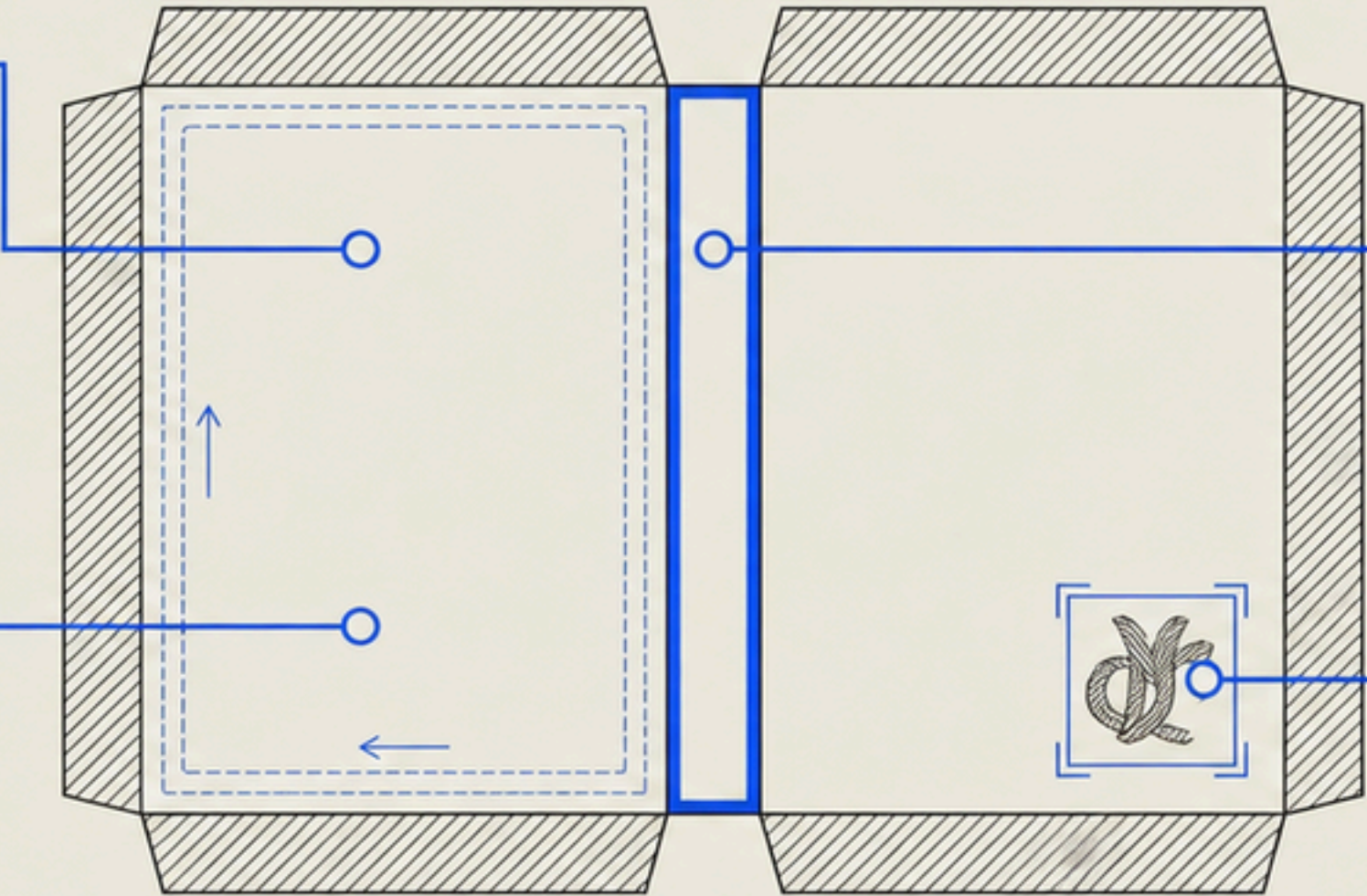
ダイライン・プリフライトチェックリスト

1. ベクター分離：印刷、刺繍、ラベル、ワッペン、カット、ステッチ、金具用に別ファイルを用意。

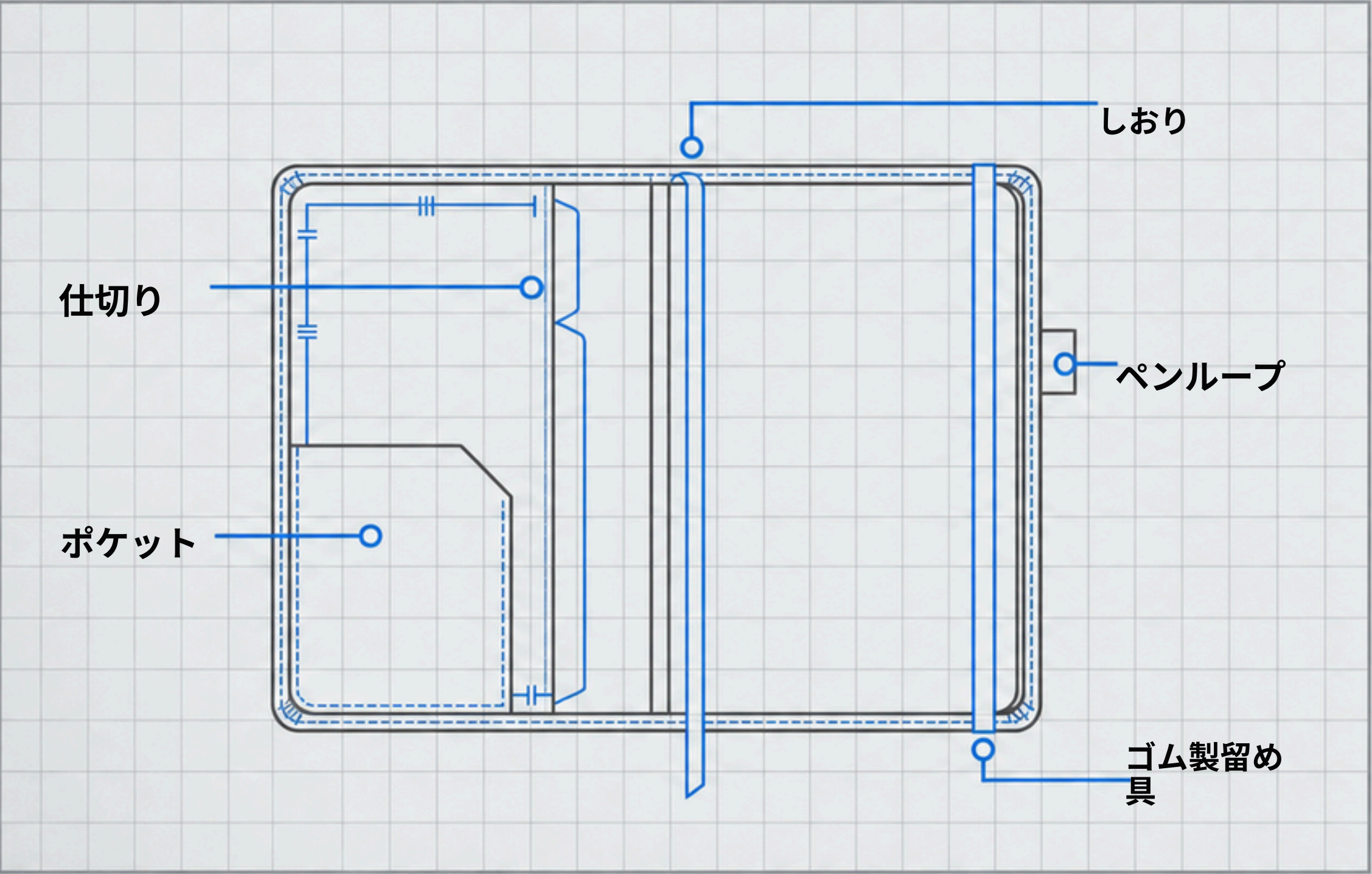
3. セーフゾーン：織り方向、柄合わせ、安全領域を示す。

2. ダイライン精度：ラップ、折り、縫い目、背表紙、ヒンジを示す、サプライヤー確認済みのダイラインを使用。

4. 刺繍変換：ステッチ確認後、指示どおり細部を簡略化。印刷アートワークがそのまま移行できると想定しない。



内部ページ構成と物理アクセサリーを定義する



部品表：

綴じ方

ページ数

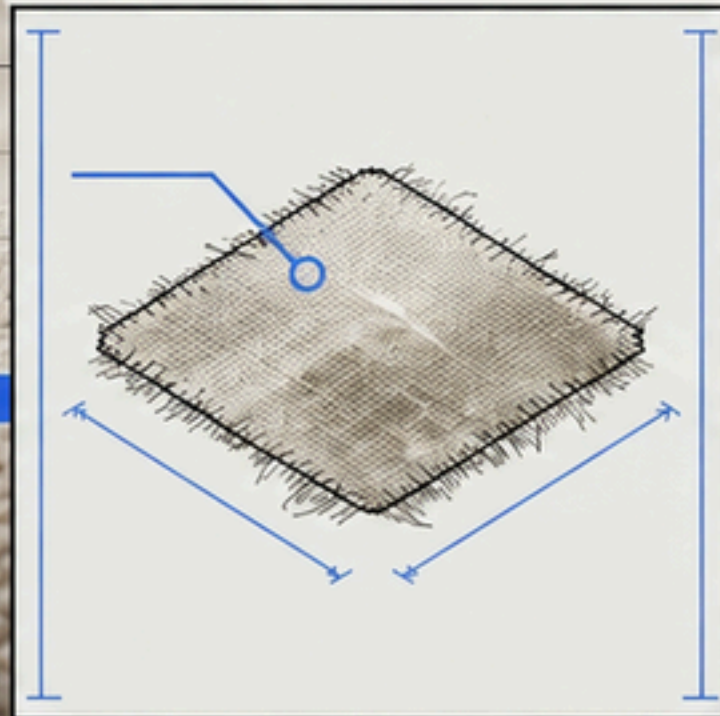
中紙の種類 & 罫線

ページ構成（明示的な内部ページ構成マップが必要）

- アクセサリーセット詳細

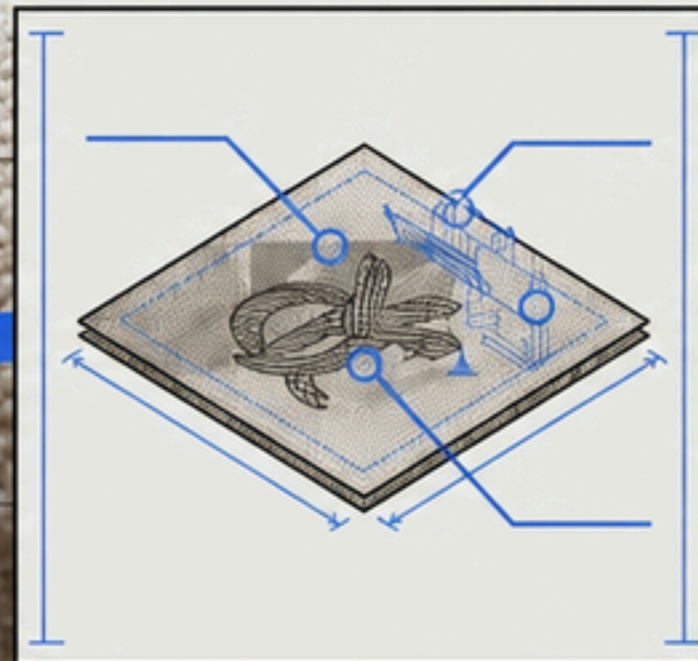
実物サンプルでテクスチャと構造を検証する

ステップ1：
布スワッチ



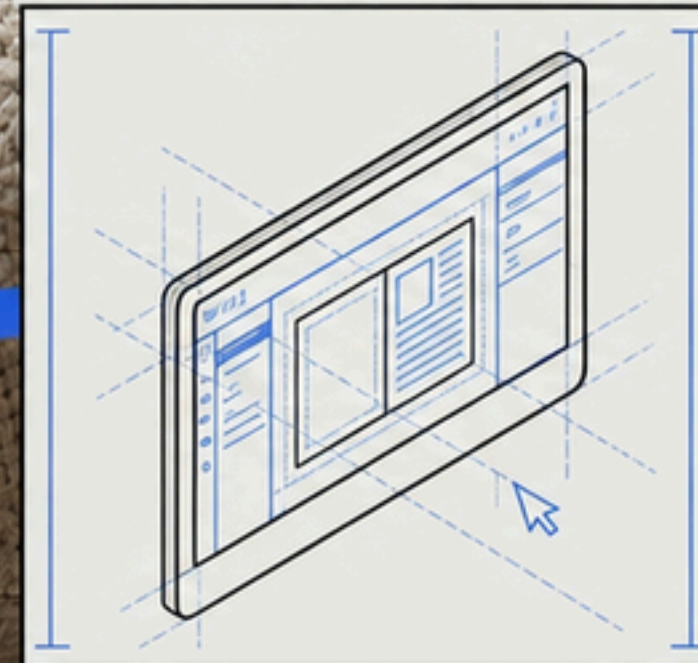
繊維、色調、テクス
チャを承認

ステップ2：装飾
ストライクオフ



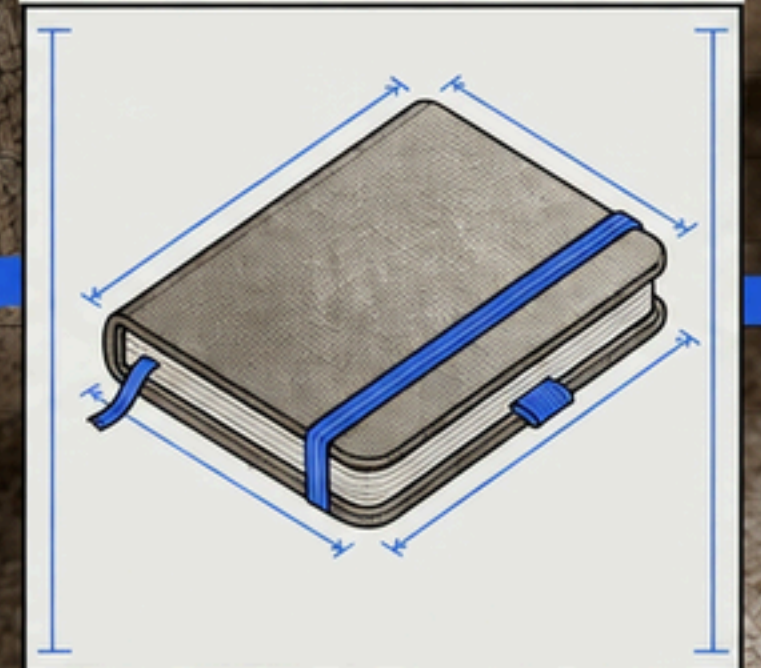
印刷との相互作用、刺繍、
刺繍の厚みを承認

ステップ3：
デジタル校正



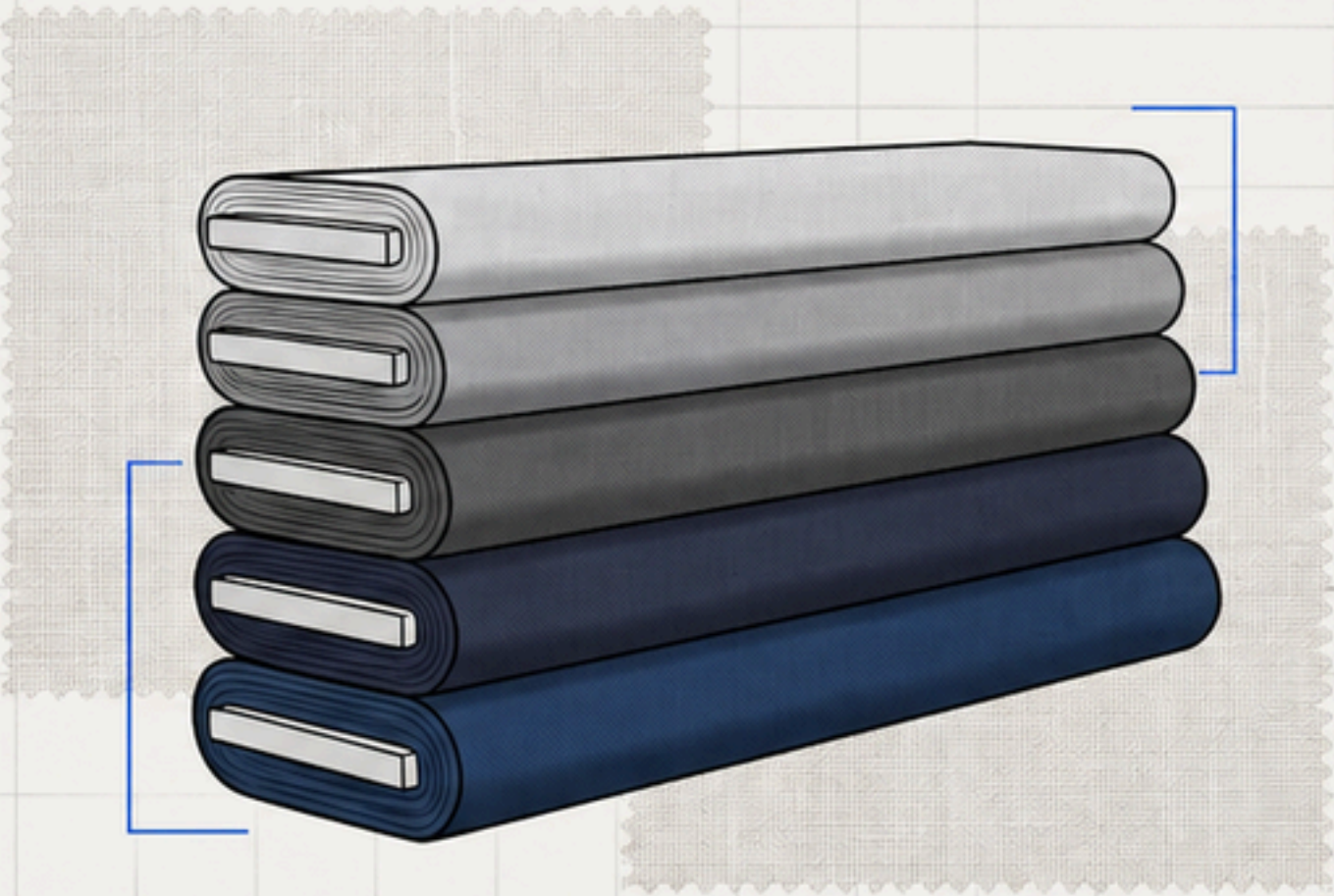
内部ページ構成とファ
イル分離を承認

ステップ4：実物
構造サンプル



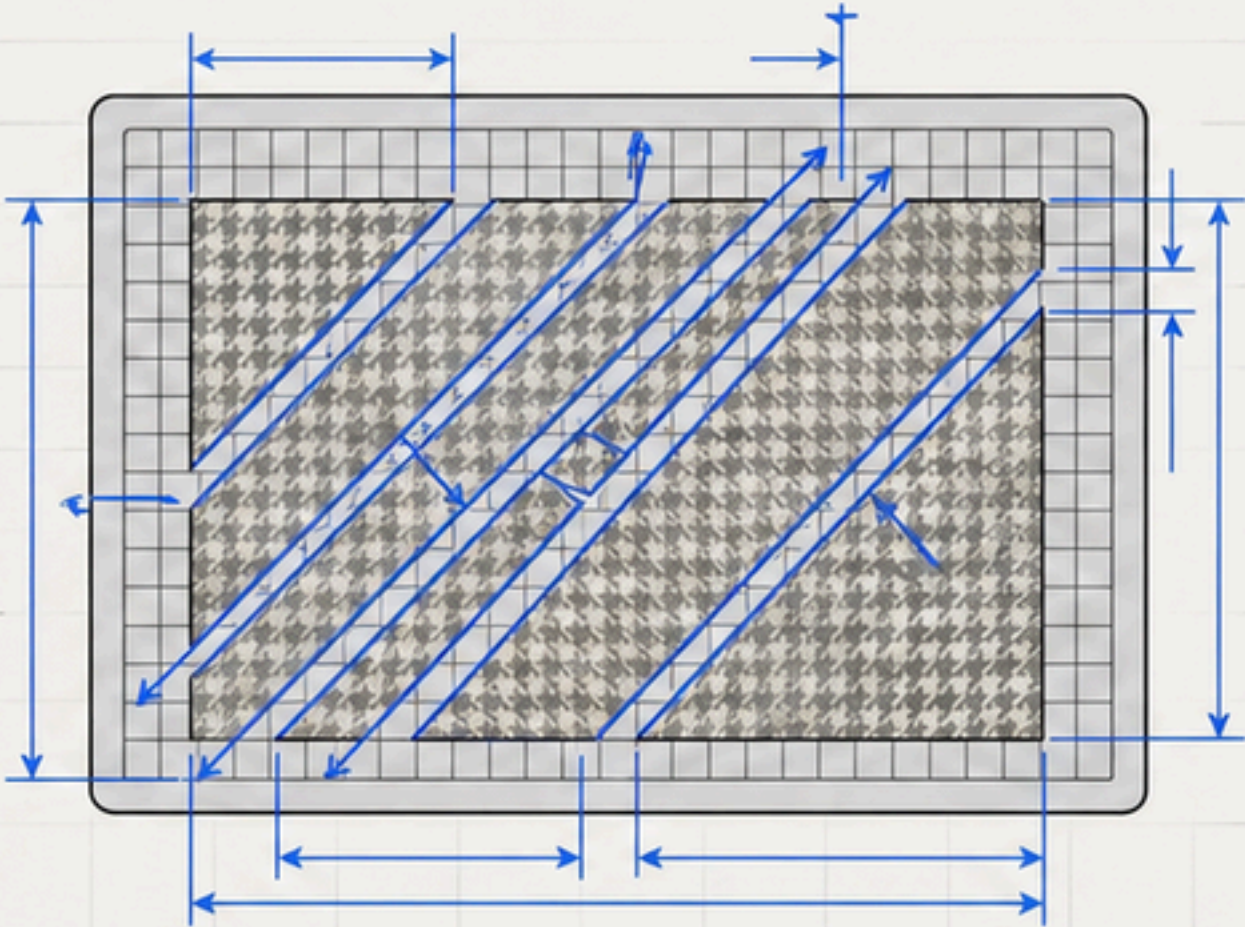
テクスチャ、柄方向、見当、
縫製品質、または開き方が重
要な場合に必須

見積もりには生産レベルの材料変数を反映する必要がある



物理的な参照を通じて承認済みの色調とテクスチャ範囲を定義し、テキスタイルロールや染色ロットのばらつきを管理する。

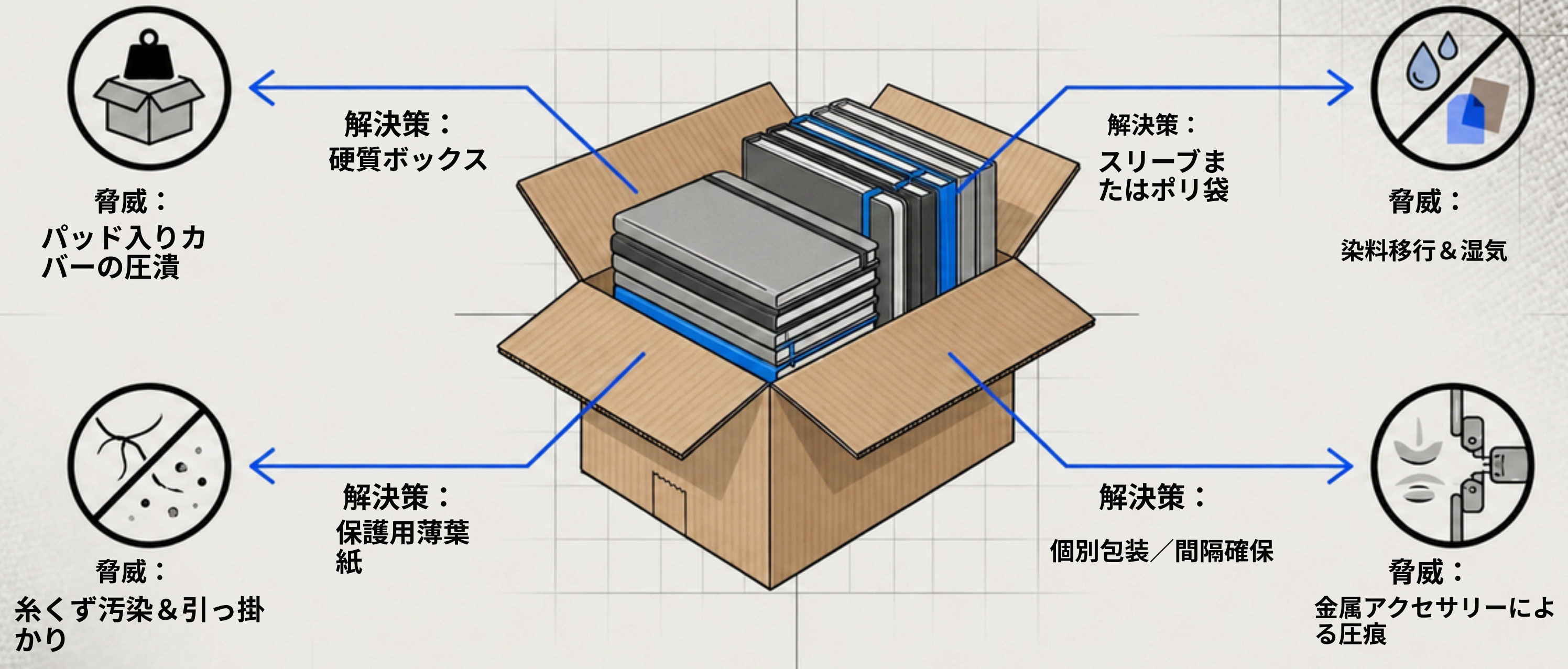
テックパックを調整する



裁断方向、柄リピート合わせ、刺繍設定、バージョン変更が最終見積もりにどう影響するかを確認する。

数量を布／色、カバーアートワーク、装飾、内部バージョン、アクセサリセット別に明記する。

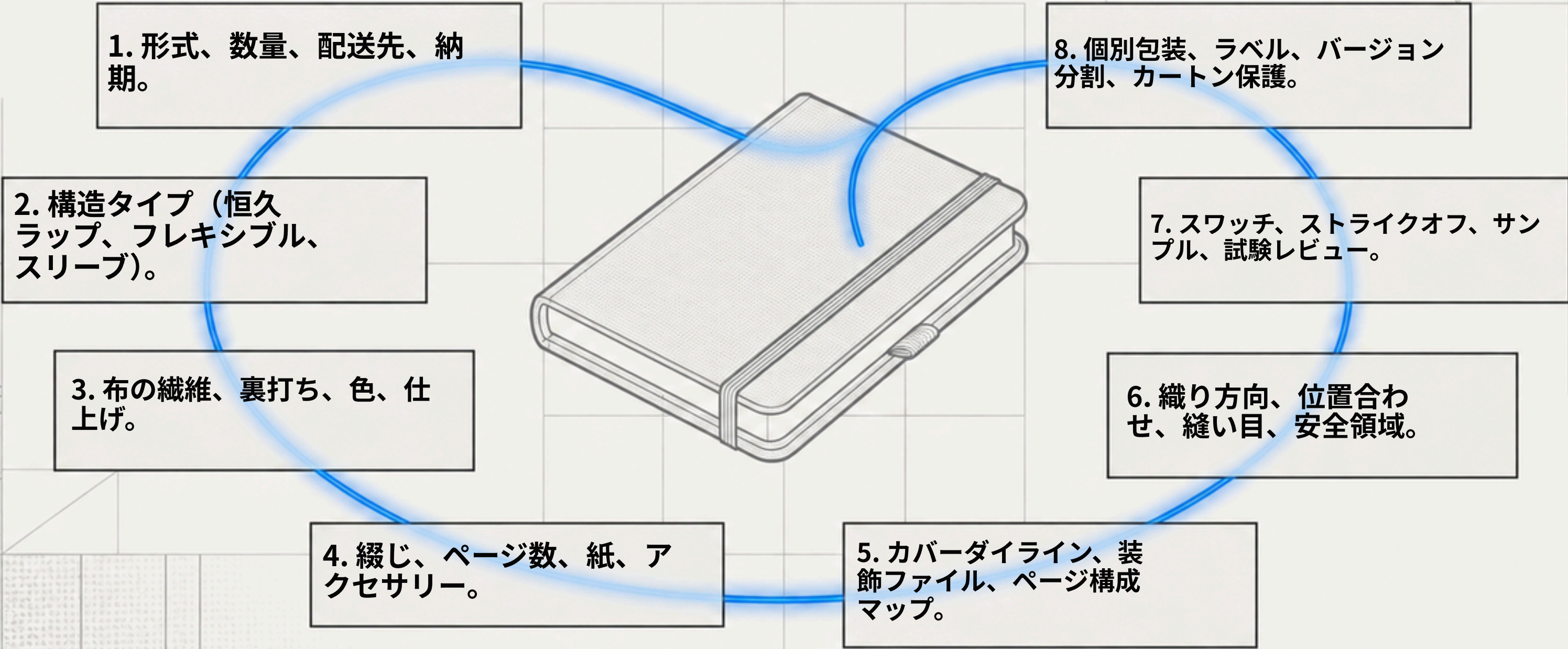
包装戦略は特定の輸送リスクを軽減しなければならない



物流仕様：ラベル、バーコード、アソート、カートンマーク、最終配送先を指定。

ゴールドスレッド：8ステップRFQを 製品ライフサイクルと整合させる

ゴールドスレッドの統合



最終的な技術・商業上の確約には、見積もり、アートワーク、材料のレビューが必要です。承認には触覚および視覚による実物参照を含める必要があります。